

# 投資情報ウィークリー

2022年8月1日号  
調査情報部

## 相場見通し

### ■先週の日本株

先週の日本株は、決算発表の本格化を前に週前半は様子見商状で軟調に推移したが、週後半にかけてはFOMCの利上げ幅(0.75%)が織り込み済み、その後のパウエルFRB議長の記者会見などから金融引き締めがピークを越えたとの見方が広がった他、アルファベット、マイクロソフトなど大型ハイテク株の決算内容がポジティブと捉えられたことから米国株が反発、日経平均も28000円の大台を一時回復した。上方修正のファンック、東京ガスや自社株買い発表などを好感した信越化、アドバンテストなどが買われた。ただ、米景気の後退が意識されて米長短金利が低下、ドルが売られてドル円が1ドル132円台まで円高が進み、自動車、電機など輸出関連株の重石となった。下図はリクルートHD、ZHD、エムスリーとナスダック100の株価推移(昨年12月30日を100として指数化)。高バリュエーションの代表株と言われた3社とナスダック100がほぼ連動していたように見える。ただ、予想PERは昨年の高値水準から急低下し割高感が解消されたと考え、今後は決算内容、中期的な成長性を鑑みた株価の動きになると想定する。

### ■投資家センチメント改善と実体経済の悪化

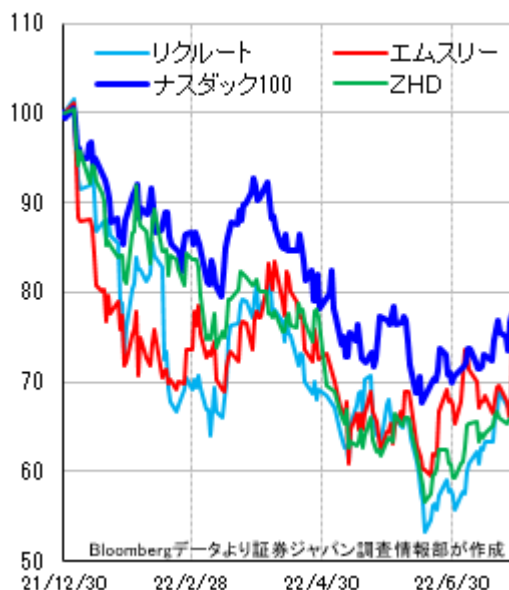
米国株市場では、売り方のポジション解消が進む中、ネットフリックスの決算発表を境に、悪材料に反応せず好材料を探す動きが目立ち始め、投資家センチメントの改善が伺える(いいところ取りの感がありそう)。更なる改善が見込めるか、3日のOPECプラス会合で原油の増産が決まるか、6月に米インフレ率はピークを付けた感もあるものの、5日の雇用統計などで賃金上昇の鈍化が見えるか、GAFAM以外の米ハイテク企業の決算が悪くないかがポイントとなりそう。一方、IMFは世界経済の成長率見通しを2022年は3.2%(4月比▲0.4%)に引き下げた。主要国では米国▲1.4%、ドイツ▲0.9%、中国▲1.1%、日本▲0.7%(ブラジルやイタリアは引上げ)。また、見通しに対するリスクは圧倒的に下方に傾いている、景気後退が起こる確率の推定値も上昇とIMFは警告した。因みに23年は、米国が1.0%、ドイツが0.8%、英国が0.5%、日本が1.7%。今週の景気指標は、7月ISM景況指数や中国のPMIなどが注目される。

### ■日経平均株価

日本経済新聞社は27日、日経平均株価の算出要領、構成銘柄選定基準の改定を発表した。一部の値嵩株等のウエートが極度に高まらないように一定の上限を設ける他、定期見直しを秋(10月第1営業日)に行われる年1回から、春(4月第1営業日)も加えた年2回に変更する。これにより指数としての信頼性や新陳代謝等が更に高まることが期待される。

### ■決算発表と株主還元

今週はトヨタ、任天堂、総合商社などが決算発表予定。4~6月期に続いて、7~9月期の会社計画にも底堅さがみられれば、また、株主還元強化(増配、自社株買い)を発表する銘柄が増えれば、感染者急増はリスクも、上値の節である28000円台前半水準を抜ける可能性がある。(増田 克実)



## 投資のヒント

### ☆TOPIX500 採用グロース系で中期トレンドが転換してきた主な銘柄群

TOPIX500 バリュースコア・グロースの両指数の7月の騰落率を比較すると、28日時点でバリュースコアの2.1%上昇に対して、グロースの上昇率は6.5%に達しており、グロース優位の動きが鮮明化している。短期的に過熱感が高まっている銘柄もあるものの、年初来高値比で見た株価位置は、依然低水準である銘柄が大半である。下表には、年初来高値からの下落率が大きいTOPIX500採用のグロース系銘柄の中から、株価とMAの位置関係が、右図の②「上昇トレンド予備群」・③「底打ち」の位置にある主な銘柄群を掲載した。(野坂 晃一)

株価と2本の移動平均の位置関係

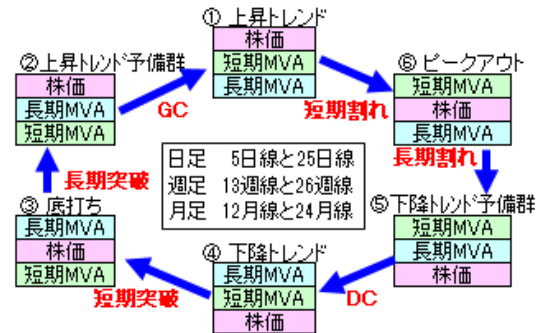


表. TOPIX500採用で「上昇トレンド予備群」の位置にある主な銘柄群

コード	銘柄	株価(円)	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	配当利回り (%)	予想経常利益伸率(%)	信用倍率 (倍)	5日カイ離率 (%)	25日カイ離率 (%)	13週カイ離率 (%)	26週カイ離率 (%)	週足分類
2127	日本M&A	1730	45.3	11.26	0.92	6.7	5.43	0.23	10.37	17.24	9.57	2
2175	エスエムエス	3180	46.3	9.95	0.33	10	0.42	2.34	10.5	10.04	3.09	2
2181	パーソルHD	2726	21.3	3.43	1.54	4.5	0.42	-0.16	4.56	8.15	5.74	2
2413	エムスリー	4362	53.8	11.01	0.45	-11.6	6.58	9.14	9.91	12.17	5.84	2
2801	キッコマン	7820	38.4	4.18	0.78	1.4	0.61	-2.44	2.54	7.79	0.04	2
3038	神戸物産	3715	40.9	9.67	0.56	0.4	2.85	2.22	7.58	14.51	7.13	2
3064	モノタロウ	2301	66.9	18.66	0.58	0.4	2.05	0.58	6.43	12.09	4.41	2
3141	ウエルシア	2983	21.9	3.02	1.07	8.4	1.5	-1.01	4.45	10.64	5.41	2
3349	コスモス薬品	14400	24.5	2.99	0.59	0.4	0.97	0.57	6.33	14.73	6.43	2
3923	ラクス	1787	587.8	37.58	0.1	-43.6	0.45	2.87	4.5	13.64	6.33	2
4307	野村総研	3965	30.3	6.89	1.1	8	2.09	-0.3	4.09	8.46	3.02	2
4443	Sansan	1296	405	13.55	-	-27.7	1.13	5.09	21.16	21.33	14.17	2
4927	ポーラHD	1630	22.2	2.11	3.19	-6.7	9.17	-0.59	-0.33	3.43	0.84	2
6005	三浦工	3215	23.9	2.27	1.27	3.8	1.52	0.21	6.81	11.08	8.65	2
6098	リクルート	4874	29	5.75	0.45	12.3	4.85	2.7	13.38	10.18	1.44	2
6367	ダイキン	22900	29.3	3.4	0.87	5.3	1.86	-1.95	2.91	8.08	7.42	2
6383	ダイフク	8470	26.9	3.67	1.23	12.2	1.84	0.07	4.83	5.65	3.88	2
6506	安川電	4575	22.7	3.92	1.39	33.6	1.39	1.5	4.17	4.15	1.38	2
6594	日電産	9162	31.9	3.69	0.76	20.4	8.57	0.22	3.57	6.41	1.22	2
6845	アズビル	3985	25.2	2.7	1.63	2.3	0.31	0.6	5.7	6.67	1.39	2
6861	キーエンス	53930	38.3	6.01	0.37	12	2.46	-1.19	7.74	7.48	1.98	2
6869	シスメックス	9440	39.5	5.67	0.84	12.7	2.09	0.35	7.76	11.4	7.51	2
6920	レーザーテック	19170	82.3	28.57	0.42	2.1	1.43	3.22	12.06	10.72	3.27	2
6954	ファナック	22645	25.9	2.77	2.2	7.8	1.37	2.31	4.58	7.38	7.02	2
6965	ホトニクス	6010	25.8	3.6	1.06	42.3	6.1	-0.16	6.57	4.03	3.03	2
7730	マニー	1609	32.6	3.7	1.86	24.1	2.69	1.7	9.28	11.45	7.76	2
7741	HOYA	13485	26.8	6.04	0.81	7.3	2.47	1.02	8.18	5.54	0.4	2
7974	任天堂	60010	20.5	3.37	2.83	-28.4	2.52	-0.87	0.85	2.55	0.44	2
9962	ミスミG	3340	22.6	3.42	1.1	9.7	5.16	1.76	8.76	11.15	2.07	2

※指標は7/28日時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

表. TOPIX500採用で「底打ち」の位置にある主な銘柄群

コード	銘柄	株価(円)	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	配当利回り (%)	予想経常利益伸率(%)	信用倍率 (倍)	5日カイ離率 (%)	25日カイ離率 (%)	13週カイ離率 (%)	26週カイ離率 (%)	週足分類
2371	カカココム	2506	29.1	10.69	1.59	23.5	0.47	-1.44	6.42	3.79	-0.8	3
2412	ベネ・ワン	2085	46	13.25	1.72	-15.9	2.87	3.42	8.7	8.84	-6.47	3
2427	アウトソウ	1153	7.8	2.08	3.9	146.6	7.13	0.61	5.84	2.92	-4.45	3
3697	SHIFT	19760	77.3	14.45	-	54.1	1.77	2.15	7.4	3.79	-4.3	3
4063	信越化	17020	11.8	2.04	2.64	21	8.81	3.39	6.8	0.15	-3.12	3
4519	中外薬	3718	19.5	4.67	2.04	4.9	13.54	0.7	2.28	3.52	-2	3
4587	ペブドリ	1569	33.9	8.25	-	-	5.98	-0.29	4.95	1.51	-12.59	3
4661	OLC	19445	180.7	8.42	0.15	348.7	2.92	0.45	4.1	4.6	-4.31	3
4768	大塚商会	4150	21.4	2.75	3.01	-5.3	0.32	-0.04	1.77	3	-0.14	3
4921	ファンケル	2519	39.5	4.14	1.34	8.2	3.33	-1.02	0.62	6.1	-4.35	3
4967	小林製薬	8960	34.2	3.6	0.94	0.7	1.04	-0.42	2.4	2.64	-2.26	3
6645	オムロン	7159	22.6	2.02	1.36	2.6	1.42	-2.13	1.76	0.17	-4.91	3
6758	ソニーG	11675	17.3	2.02	0.64	1.1	4.03	-0.71	2.53	1.98	-0.4	3
6951	日電子	5990	22.3	3.55	1	15.2	7.11	1.25	9.47	3.77	-0.9	3
7956	ビジョン	1939	24.4	3.12	3.91	-2.4	4.99	-0.51	1.17	0.7	-4.89	3
8697	日本取引所	2114	24.7	3.69	2.45	-10.8	1.06	-2.58	0.73	3.71	-0.81	3
9449	GMO	2558	13.6	3.87	2.4	3.7	1.66	-0.22	3.55	2.73	-0.79	3
9613	NTTデータ	1997	20.5	2.2	1.05	6.6	23.4	0.2	3.65	0.69	-6.34	3
9843	ニトリHD	13740	16.1	2.04	0.98	-	4.63	-3.15	1.98	5.6	-4.46	3

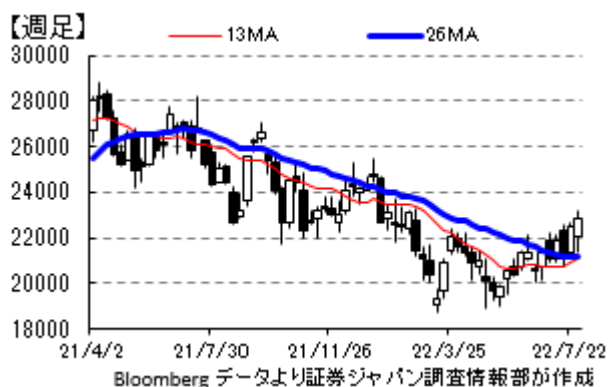
※指標は7/28日時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

## 参考銘柄

### 6954 ファナック

23年3月期第1四半期（4～6月）業績は売上高が前年同期比14.2%増の2115.6億円、営業利益が同4.4%減の497.5億円となった。部門別ではFA部門が工作機械業界の需要拡大を受けて、中国、欧米、アジア、国内ともに堅調で、部門売り上げは前年同期比25.6%増となった。ロボット部門では中国でEV、IT関連が好調で、米国でも一般産業向けやEV向けに堅調で、同36.8%増収と大きく伸びた。ロボマシ部門ではロボショット（電動射出成型機）がIT、医療関連向けに伸びたものの、ロボドリル（小型切削加工機）がスマホ、タブレット向けで減少した。部門売り上げは同24.5%減となった。サービス部門は同20.6%増収と好調だった。また、第1四半期の受注についてロボマシンとFAが中国を中心に減少したものの、ロボットは米州で大幅に増加したほか、欧州や中国でも増加し、全体では前年同期比4.2%増、前四半期比で3.8%増と堅調だ。会社側では中間期の業績見通しを売上高で15億円増の4123億円、営業利益で7億円減の966億円に修正した。また、通期計画は売上高で2億円増の8257億円、営業利益で11億円増の1984億円に上方修正した。為替前提は1ドル125円、1ユーロ135円。今後もEV投資の拡大や国内への設備投資回帰の流れを受けて、堅調な受注、売り上げ増が期待されよう。

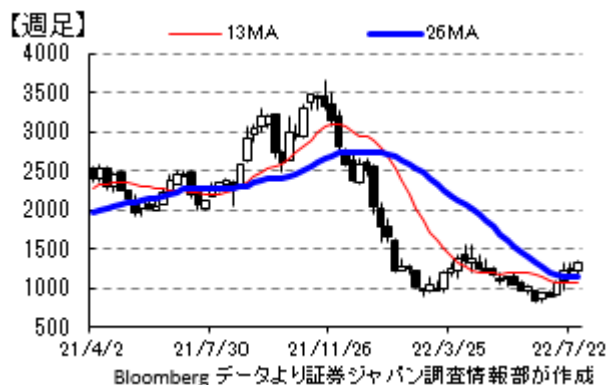


[決算説明会資料](#)

（大谷 正之）

### 4443 Sansan

2023年5月期通期の業績予想は、売上高が前期比23.0%増から26.2%増の251.1億円から257.6億円、調整後営業利益が前期比25.5%増から76.3%増の9.1億円から12.8億円。セグメント別では、Sansan/Bill One 事業の売上高が前期比21.5%増から25.0%増の219.9億円から226.3億円、Eight 事業の売上高が前期比31.0%増から36.0%増の29.0億円から30.1億円を見込んでいる。Bill One の売上高は前期比2倍から3倍、ARRは前期末比2倍以上を見込んでいる一方で、Bill One へのリソースシフトにより、Sansan の売上高成長率は鈍化する見込みで、Sansan/Bill One 事業全体での成長率の最大化を目指していく。なお、同社では2025年5月期までの中期的な財務目標として、「堅調な売上高成長と安定的な利益成長の両立を目指す」という方針を掲げている。売上高は20%台以上の堅調な成長の継続を目指していくほか、調整後営業利益は毎決算期における利益率の向上を目指していく方針で、Sansan/Bill One 事業では2025年5月期にSansanとBill Oneの合計で100億円以上の調整後営業利益を計上する方針を示している。



（下田 広輝）

## 参考銘柄

### 4661 オリエンタルランド

23年3月期の1四半期の営業利益は170億円（前年は赤字）。コストの増加があったものの、行動制限緩和による入園者数の増加により黒字に転換した。セグメント別では、テーマパーク事業が154億円、ホテル事業が16億円、その他の事業が▲1億円。売上高は前年同期比97%増の981億円。テーマパーク事業では、変動価格制による高価格帯チケットの構成比増や、東京ディズニーリゾート・パッケージ、プレミアムアクセスの導入などの施策が功を奏し、営業時間拡大による喫食機会やアルコール販売再開による飲食販売の増加、東京ディズニーシー20周年関連商品販売増などが寄与した。ホテル事業では、販売客室数の制限緩和や、4月に東京ディズニーリゾート・Toy・Storyホテルの開業も寄与した。なお、期初の営業利益計画、上期218億円、通期502億円は据え置かれた。



[決算説明会資料](#)

（増田 克実）

### 9022 東海旅客鉄道

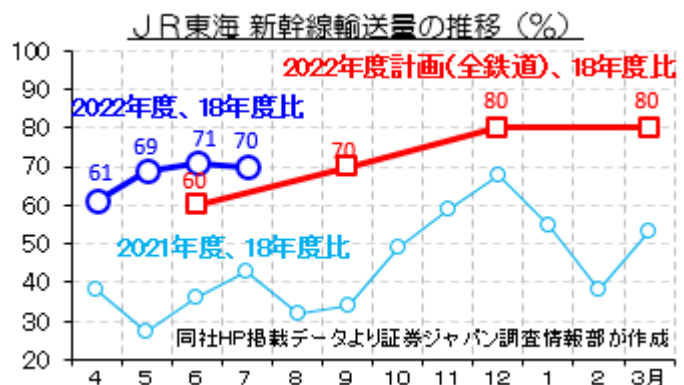
22年度第1四半期の営業利益は835億円（前年は赤字）。運輸業では、新幹線の輸送量が18年度比67%と期初計画の60%を上回り、営業利益は773億円となった。土日休の利用に回復が見られたほか、特にGW期間（4/28～5/8）には「のぞみ12本ダイヤ」の実施など十分な輸送量も確保し、期間中1日当たりの輸送量が2014年の水準まで回復した。通期の営業利益計画2900億円は据え置き。



[月次利用状況](#)



[決算説明会資料](#)



### 4502 武田薬品工業

22年度1四半期の営業利益は前年同期比39.4%減の1505億円。但し、これは財務ベースとして前年の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却による一過性収入の影響を反映しており、コア営業利益（重要性のある本業に起因しない事象による影響を控除）では同28.2%増の3191億円と堅調。通期営業利益計画は5200億円、コア営業利益では1兆1000億円を掲げる。また、パイプラインの進捗の中で、 Deng熱ワクチン候補のTAK-0033が、4.5年間の臨床第3相試験の最終データにおいて、血清型にかかわらず、 Deng熱による入院および Deng熱の発症に対して持続的かつ長期的な有効性を示していると発表。欧州および特定の Deng熱流行国において規制当局が審査中であり、22年度中に米国での申請を予定している。 Deng熱は蚊媒介ウイルス性疾患で、WHOは2019年にグローバルヘルスに対する脅威トップ10の1つに認定、年間約3億9000万件の感染症、約50万件の入院および約2万件の死亡を引き起こすと推定されている。



[決算説明資料](#)

（東 瑞輝）

☆主な3月期決算企業の第1四半期決算発表予定 その3

銘柄	発表日	第1Q予想(QC)		前年第1Q		通期予想(日経)				通期予想(QC)	
		営業利益	税引利益	営業利益	税引利益	営業利益	前年比	税引利益	前年比	営業利益	税引利益
4021 日産化	8/8	14,883	11,467	11,875	8,849	53,500	5.0%	39,600	2.1%	55,950	42,000
5713 住友鋳		-	53,550	-	43,055	-	-	137,000	-51.3%	-	170,801
6383 ダイフク		12,833	9,650	10,517	7,726	56,500	12.4%	39,600	10.4%	59,168	42,674
8035 東エレク		164,491	121,288	141,791	100,363	716,000	19.5%	523,000	19.7%	729,256	539,338
8088 岩谷産		-	-	7,834	6,015	35,000	-12.7%	26,500	-11.6%	38,600	29,250
9048 名鉄		4,250	-	-1,813	-854	21,000	616.2%	16,000	70.8%	22,867	16,017
9064 ヤマトHD		9,767	7,000	12,734	11,705	91,000	17.9%	57,000	1.9%	88,868	54,989
9432 NTT		497,332	337,940	486,274	339,987	1,820,000	2.9%	1,190,000	0.8%	1,840,006	1,206,378
9984 SBG		-	-91,667	-	761,509	-	-	200,000	111.7%	-	492,233
1925 ハウス		8/9	61,260	39,783	58,440	38,585	350,000	-8.7%	218,000	-3.2%	366,510
2269 明治HD	15,788		10,867	18,621	12,491	92,500	-0.5%	62,500	-28.6%	86,450	57,205
2433 博報堂DY	9,622		6,300	12,087	6,238	51,000	-28.8%	26,000	-52.9%	53,283	30,838
3402 東レ	35,300		25,480	35,891	29,729	110,000	9.4%	100,000	18.7%	137,070	103,053
4483 JMDC	1,044		703	826	540	6,000	25.0%	4,000	22.8%	6,522	4,408
4516 日本新薬	9,750		7,050	16,448	12,341	27,000	-18.1%	21,500	-14.0%	29,430	22,686
4527 ロート	6,467		5,150	6,008	4,731	28,000	-4.6%	19,500	-7.2%	28,800	19,981
4543 テルモ	34,050		26,290	36,233	27,895	132,000	13.8%	100,000	12.6%	134,539	102,619
5019 出光興産	70,850		58,525	111,305	88,380	190,000	-56.3%	165,000	-41.0%	258,688	203,188
6841 横河電	6,900		6,400	4,807	2,981	37,000	20.6%	25,000	17.5%	38,450	26,283
7013 IHI	8,980	2,400	20,259	14,179	75,000	-8.0%	40,000	-39.5%	84,130	48,876	
7733 オリジナス	46,433	34,640	27,612	18,690	206,000	33.9%	154,000	33.1%	206,492	155,060	
9364 上組	7,600	-	7,754	5,966	29,500	3.4%	22,000	5.5%	29,200	21,775	
9735 セコム	31,400	21,800	34,016	23,897	134,000	-6.6%	87,300	-7.4%	138,357	90,014	
1802 大林組	8/10	16,160	13,800	14,478	12,293	100,000	143.6%	76,000	94.2%	97,500	74,025
1808 長谷工		17,060	11,450	20,395	14,675	87,000	5.2%	57,000	4.6%	86,775	58,088
1963 日揮HD		5,233	4,000	4,191	-55,173	26,000	25.7%	20,000	156.3%	27,000	21,058
2181 パーツHD		15,410	10,450	13,137	8,487	52,000	8.0%	29,500	-6.4%	54,288	31,343
4901 富士フイルム		50,717	42,304	56,318	57,307	245,000	6.7%	192,000	-9.1%	253,277	198,793
6178 日本郵政		-	-	-	159,736	-	-	400,000	-20.3%	-	389,849
6273 SMC		62,160	44,300	57,384	45,963	255,000	11.9%	188,000	-2.6%	264,423	198,737
6502 東芝		19,200	22,830	14,528	17,996	170,000	7.0%	210,000	7.9%	193,333	197,783
7181 かんぽ生命		-	-	-	41,215	-	-	71,000	-55.1%	-	84,558
7182 ゆうちょ銀		-	100,000	-	120,819	-	-	320,000	-9.9%	-	327,820
7550 ゼンショーHD	2,925	1,570	2,875	1,232	25,000	170.8%	14,027	1.1%	19,747	10,260	
8750 第一生命HD	-	89,300	-	138,410	-	-	285,000	-30.4%	-	286,867	
8795 T&D	-	-59,000	-	-32,552	-	-	17,000	19.9%	-	27,620	
8830 住友不	76,235	50,538	71,041	49,184	240,000	2.6%	160,000	6.3%	245,280	161,848	
9005 東急	8,653	5,000	1,129	9,309	40,000	26.8%	22,000	150.5%	47,474	28,497	
9041 近鉄GHD	7,100	-	-14,579	9,300	30,000	676.4%	27,000	-36.8%	47,660	37,360	
3088 マツキヨココ	9,958	6,633	7,356	5,217	53,000	28.0%	35,000	1.2%	53,359	36,493	
5020 ENEOS	8/12	190,214	103,969	161,980	97,622	340,000	-56.7%	170,000	-68.3%	459,088	259,238
6098 リクルート		103,533	78,120	104,717	77,864	420,000	10.8%	270,000	-9.0%	391,269	295,605
7012 川重		17,500	8,500	15,166	9,869	-	-	29,000	-	62,500	33,029
8876 リロググループ		4,950	3,600	3,961	2,805	22,400	21.0%	15,800	1.0%	22,132	15,501
9435 光通信		18,430	14,360	24,177	20,533	77,000	-7.3%	62,000	-29.0%	78,580	62,528
9989 サンドラッグ		8,600	6,350	9,599	6,801	35,400	4.0%	24,200	1.5%	34,683	23,767
8473 SBI	8/15	-	24,638	-	28,958	-	-	102,000	-72.2%	-	102,771

予定は変更になる場合があります。 単位:百万円、QCはQUICKコンセンサス、7月25日現在 QUICKより証券ジャパン調査情報部作成

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

<国内スケジュール>

8月1日(月)

7月新車販売(14:00、自販連・全軽協)

8月2日(火)

7月マネタリーベース(8:50、日銀)

上場 日本ビジネスシステムズ<5036>東証スタンダード

8月3日(水)

臨時国会召集(3~5日)

8月4日(木)

7月車名別新車販売(11:00、自販連)

8月5日(金)

6月毎月勤労統計(8:30、厚労省)

6月家計調査(8:30、総務省)

6月消費動向指数(8:30、総務省)

6月景気動向指数(14:00、内閣府)

上場 クラシコム<7110>東証グロス

<国内決算>

8月1日(月)

12:00~ 【1Q】アステラス薬<4503>、小野薬<4528>

13:00~ 【1Q】日ハム<2282>、塩野義<4507>

15:00~ 【1Q】ミツコシセタン<3099>、住友化<4005>、  
JSR<4185>、TDK<6762>、京セラ<6971>、  
ANA<9202>

時間未定【1Q】大阪ガス<9532>

8月2日(火)

12:00~ 【1Q】双日<2768>

13:00~ 【1Q】東ソー<4042>、三井物<8031>

14:00~ 【1Q】三菱商<8058>

15:00~ 【1Q】イビデン<4062>、ダイキン<6367>、  
JR西日本<9021>  
【2Q】AGC<5201>

16:00~ 【1Q】三菱UFJ<8306>

8月3日(水)

11:00~ 【1Q】カカコム<2371>、川崎船<9107>

12:00~ 【1Q】大正薬HD<4581>、郵船<9101>

13:00~ 【1Q】三菱ケミカル<4188>、SUBARU<7270>

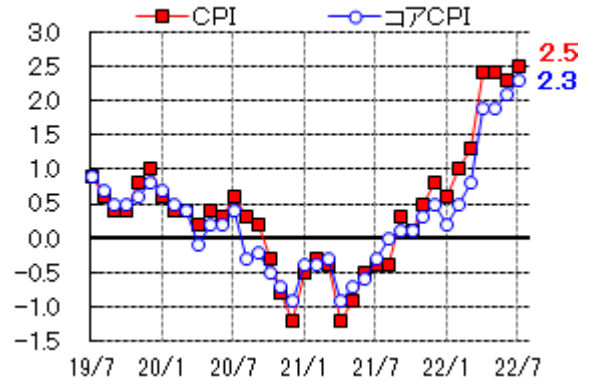
15:00~ 【1Q】JFE<5411>、住友電<5802>、  
太陽誘電<6976>、リコー<7752>、ヤマハ<7951>、  
任天堂<7974>、オリックス<8591>、  
東武<9001>、京王<9008>、阪急阪神<9042>  
【2Q】花王<4452>、クボタ<6326>

16:00~ 【1Q】日空ビル<9706>

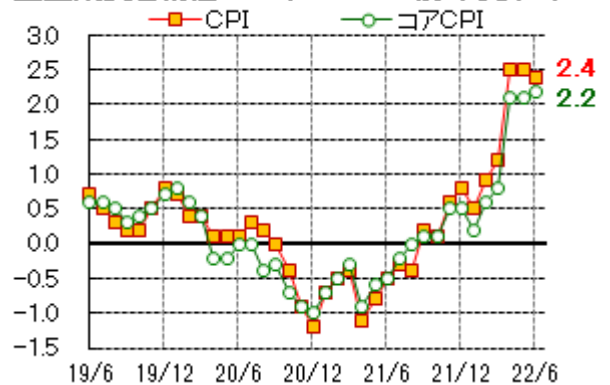
時間未定【1Q】Z HD<4689>

【参考】直近で発表された主な国内経済指標

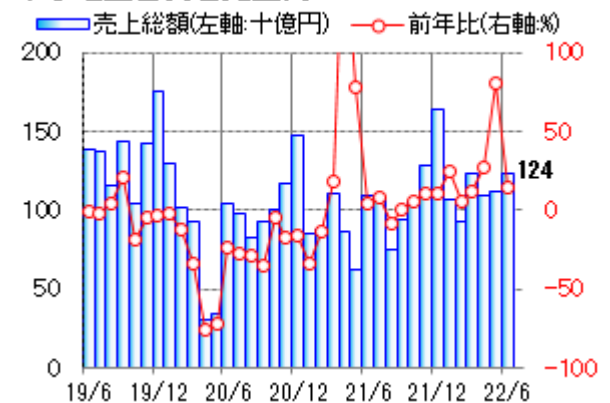
東京都区部 CPI、コアCPI 前年比(%)



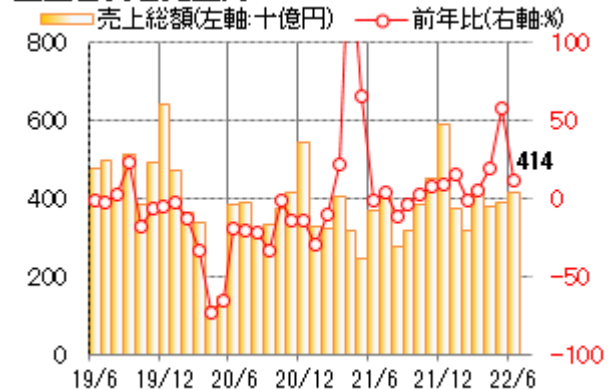
全国消費者物価 CPI、コアCPI 前年比(%)



東京地区百貨店売上高



全国百貨店売上高



Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

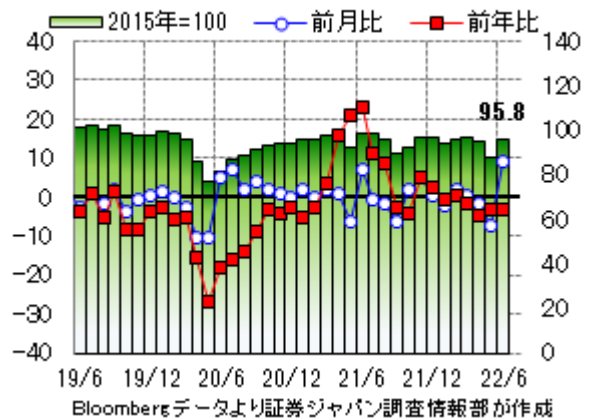
8月4日(木)

- 11:00~ 【1Q】セガサミーHD<6460>  
【2Q】DMG森精<6141>
- 13:00~ 【1Q】日清食HD<2897>、旭化成<3407>、  
トヨタ<7203>、HOYA<7741>
- 15:00~ グリー<3632>  
【1Q】TIS<3626>、エア・ウォーター<4088>、  
日本製鉄<5401>、古河電<5801>、  
シスメックス<6869>、ニコン<7731>、  
西武HD<9024>、ソフトバンク<9434>、  
コナミG<9766>、ヤマダHD<9831>  
【2Q】SUMCO<3436>、昭和電工<4004>、  
ユニチャーム<8113>  
【3Q】F&LC<3563>
- 時間未定【1Q】キッコーマン<2801>、スクエニHD<9684>

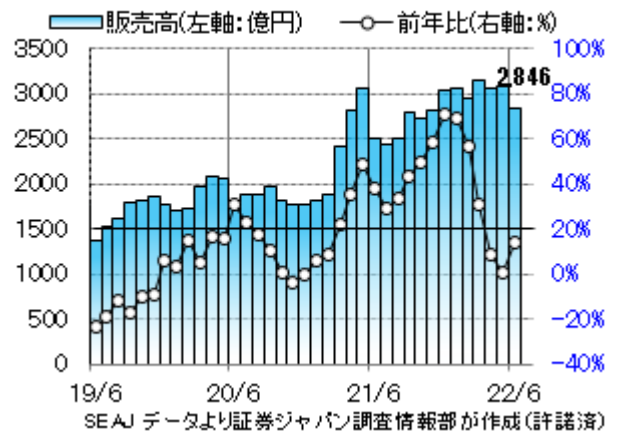
8月5日(金)

- 11:00~ 【1Q】デンカ<4061>、丸紅<8002>
- 12:00~ 【1Q】IIJ<3774>、エーザイ<4523>
- 13:00~ 【1Q】三井化学<4183>、三菱重<7011>、  
伊藤忠<8001>
- 14:00~ 【1Q】大成建<1801>
- 15:00~ 【1Q】コムシスHD<1721>、菱ガス化<4182>、  
関西ペ<4613>、ラウンドワン<4680>、  
フジクラ<5803>、アマダ<6113>、  
ブラザー<6448>、ミネベアミツミ<6479>、  
いすゞ<7202>、スズキ<7269>、島津<7701>、  
凸版<7911>、東京海上<8766>、菱地所<8802>、  
京急<9006>、NTTデータ<9613>  
【2Q】ヤマハ発<7272>
- 16:00~ レーザーテック<6920>
- 時間未定【1Q】バンダイナムコ<7832>、  
SOMPO HD<8630>、MS&AD<8725>

鉱工業生産(季調済、指数:右軸、%:左軸)



半導体製造装置販売高 (SEAJ)



	前回より
6月 訪日外国人数	12万人 ↑
6月 CPI 前年比	+2.4% ↓
6月 CPIコア 前年比	+2.2% ↑
7月 製造業PMI 速報	52.2 ↓
7月 非製造業PMI 速報	51.2 ↓
6月 企業向けサービス価格 前年比	+2.0% ↑
6月 半導体製造装置販売 前年比	+14.1% ↑
6月 東京地区百貨店売上 前年比	+13.8% ↓
6月 全国百貨店売上 前年比	+11.7% ↓
7月 東京CPI 前年比	+2.5% ↑
7月 東京CPIコア 前年比	+2.3% ↑
6月 小売業販売額 前月比	-1.4% ↓
6月 小売業販売額 前年比	+1.5% ↓
6月 百貨店・スーパー売上 前年比	+1.3% ↓
6月 鉱工業生産 前月比 速報	+8.9% ↑
6月 鉱工業生産 前年比 速報	-3.1% ↓
6月 住宅着工 前年比	-2.2% ↑
6月 失業率	2.6% ↑
6月 有効求人倍率	1.27 ↑

※ご注意「前回より」は前の四半期・月との比較ですが、改定・確報とある場合は直近の速報値との比較です。

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

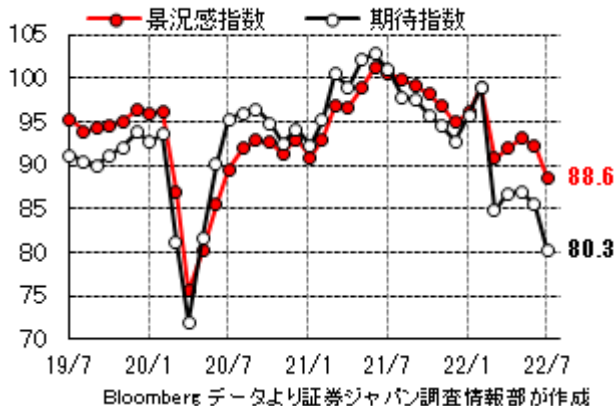
<海外スケジュール・現地時間>

- 8月1日(月)  
 中 7月財新・製造業PMI  
 米 7月ISM製造業PMI  
 米 6月建設支出  
 休場 カナダ(市民の日)、スイス(建国記念日)
- 8月2日(火)  
 米 7月新車販売
- 8月3日(水)  
 中 7月財新・サービス業PMI  
 欧 6月ユーロ圏小売売上高  
 米 6月製造業受注  
 米 7月ISMサービス業PMI
- 8月4日(木)  
 米 6月貿易収支
- 8月5日(金)  
 米 7月雇用統計  
 米 6月消費者信用残高
- 8月7日(日)  
 中 7月貿易統計

<海外決算>

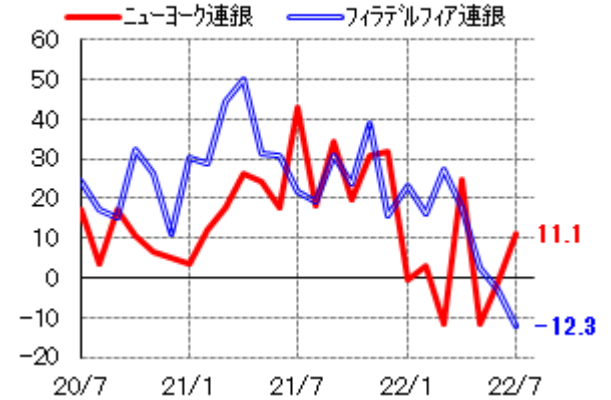
- 8月1日(月)  
 チェック・ポイント、アクティビジョン、ピンタレスト、  
 デボン・エナジー
- 8月2日(火)  
 キャタピラー、ウーバー、マリオット、AMD、EA、  
 スターバックス、ペイパル、ギリアド、ベリスク
- 8月3日(水)  
 アンダー・アーマー、モデルナ、ニュートリエン、  
 アイロボット、アルベマール、イーベイ、ファストリー
- 8月4日(木)  
 センプラ・エナジー、ボール、アリババ、データドッグ、  
 ゴエティス、シェイクシャック、ビヨンド・ミート、  
 アムジェン、コルテバ、EOG、プロジニー、ブロック、  
 エクスペディア

独IFO景況感指数

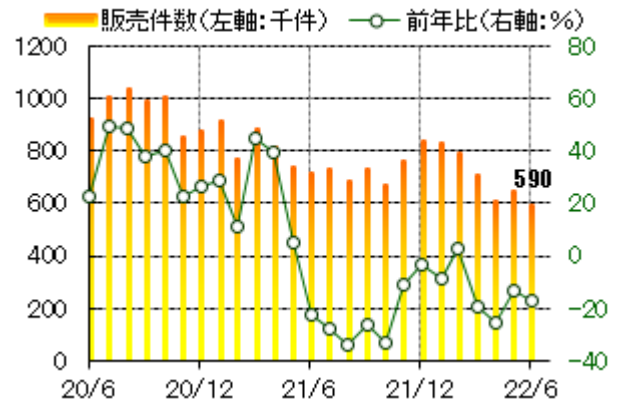


【参考】直近で発表された主な海外経済指標

米国各連銀製造業景況感



米新築住宅販売



	前回より
米 7月 フィラデルフィア連銀景況感	-12.3 ↓
米 6月 景気先行指数 前月比	-0.8 ↓
米 7月 製造業PMI マーケット 速報	52.3 ↓
米 7月 非製造業PMI マーケット 速報	47.0 ↓
米 6月 シカゴ連銀全米活動指数	-0.19 ↓
米 7月 消費者信頼感指数	95.7 ↓
米 6月 新築住宅販売 前月比	-8.1% ↓
米 6月 卸売在庫 前月比 速報	+1.9% ↑
米 6月 耐久財受注 前月比 速報	+1.9% ↑
米 2Q GDP 年率 前期比	-0.9% ↑
米 2Q コアPCE 前期比	+4.4% ↓
米 2Q 個人消費 前期比	+1.0% ↓
欧 6月 マネーサプライM3 前年比	+5.7% ↑
欧 7月 製造業PMI マーケット 速報	49.6 ↓
欧 7月 非製造業PMI マーケット 速報	50.6 ↓
独 7月 製造業PMI マーケット 速報	49.2 ↓
独 7月 非製造業PMI マーケット 速報	49.2 ↓
独 7月 IFO企業景況感指数	88.6 ↓
独 7月 IFO期待指数	80.3 ↓
独 7月 CPI 前月比	+0.9% ↑
独 7月 CPI 前年比	+7.5% ↓

※ご注意「前回より」は前の四半期・月との比較ですが、改定・確認とある場合は直近の速報値との比較です。発表、報道等より証券ジャパン調査情報部が作成

(東 瑞輝)



7/29 15:40 現在



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

## 投資にあたっての注意事項

### ●手数料について

○国内金融商品取引所上場株式の委託取引を行う場合、一取引につき対面取引では約定代金に対して最大1.2650%（税込）（但し、最低2,750円（税込））の委託手数料をご負担いただきます。また、インターネット取引では、「約定毎手数料コース」においては、1取引の約定代金が100万円以下の場合は1取引につき550円（税込）、1取引の約定代金が100万円超の場合は1取引につき1,100円（税込）の委託手数料をご負担いただきます。「1日定額コース」においては、1日の約定代金300万円ごとに1,650円（税込）の委託手数料をご負担いただきます。

募集等により取得する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

※1日定額コースは、取引回数（注1）が30回以上の場合、現行の手数料に加えて22,000円（税込）の追加手数料を加算させていただきます。（注2）

注1 取引回数＝約定に至った注文の数

注2 複数市場へのご注文は市場ごとに1回の注文となります。

○外国金融商品取引所上場株式の外国取引を行う場合、売買金額（現地約定代金に買いの場合は現地諸費用を加え、売りの場合は現地諸費用を差し引いた額）に対して最大1.3200%（税込）の取次手数料をご負担いただきます。外国株式等の取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額をあらかじめ記載することはできません。

○外国株式等の国内店頭取引を行う場合、お客様の購入及び売却の取引価格を当社が提示します。国内店頭取引の取引価格は、主たる取引所の直近の出来値・気配値を基準に、合理的かつ適正な方法で算出した社内基準価格を仲値として、原則として、仲値に3%を加えた価格を販売価格（お客様の購入単価）、2%を減じた価格を買い取り価格（お客様の売却単価）としています。

○非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

○投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等諸経費をご負担いただきます。

○外貨建て商品の場合、円貨と外貨の交換、または異なる外貨間の交換については、為替市場の動向に応じて当社が決定した為替レートによります。

### ●リスクについて

○株式は、株価変動による元本の損失を生じるおそれがあります。また、信用取引を行う場合は、対面取引においては建玉金額の30%以上かつ100万円以上、インターネット取引においては建玉金額の30%以上かつ30万円以上の委託保証金の差し入れが必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が多額となり差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

外国株式の場合、為替相場によっても元本の損失を生じるおそれがあります。外国株式等の中には、金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われていない銘柄があります。

○債券は、金利水準の変動等により価格が上下することから、元本の損失を生じるおそれがあります。

外国債券は、金利水準に加えて、為替相場の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。

○投資信託は、銘柄により異なるリスクが存在しており、各銘柄の組入有価証券の価格の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。各銘柄のリスクにつきましては目論見書等をよくお読み下さい。

●お取引にあたっては、開設された口座や商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読み下さい。これら目論見書等、資料のご請求は各店の窓口までお申出下さい。

●銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。

●本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

2022年7月29日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。

### ●当社の概要

商号等：株式会社証券ジャパン 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号

加入協会：日本証券業協会

コンプライアンス推進部審査済 2022年7月29日

## 留意事項

この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。